

みどりのゆび

諏訪中央病院グリーンボランティア通信 No.109号 2019年4月24日発行

学習会について

私たちは冬の間、月に一度学習会を開いています。

1月の講師は名誉院長・鎌田實先生にお願いしています。健康に関するお話しだけでなく、日本や世界の被災地の現状や支援の様子など貴重なお話も聞かせていただいています。

2月は院内の先生や外部から招いた園芸家の方等に講演をお願いしています。

3月はこのボランティアを立ち上げた萩尾エリ子先生のお話しです。もう20年になるこの庭の始まりから変遷、そのあり方、庭に対する思い、またハーブやアロマについてのお話しは実践的な知識として役立っています。

このほか2年に1度は参考になる庭や植物園などを見学して、ガーデニング



に対する見聞を広めながら、仲間同士の親睦も深めてきました。こうして私たちは身近に素晴らしい講師の方々に恵まれ、有意義な学習会を続けることができます。[市川]

*この1月～3月に行われた学習会についてその内容を簡単に報告します。

◎1月16日(水) 鎌田先生

樹木希林さんとの交流、昨年出版の絵本、町田市のNPO法人設立等の話を通して自己決定権や自立支援の大切さについて

◎2月20日(水) 緩和ケア科 片岡先生

症状のコントロール、在宅医療のための調整、レスパイト(一時的ケア)としての利用など緩和ケア病棟の役割や目的について

◎3月20日(水) 萩尾エリ子先生

ハーブとスパイスをお酒で薬酒として楽しむ方法など

今年度の作業予定

新しい年度がはじまりました。野原のようにと願い、デザインされた、このお庭を幾度も巡って、体で感じながら楽しみましょう。

今年度、特に以下の作業を予定しています。

<東ガーデン> 工事跡の片付け、野菜畑の整備、チョウチョの来るゾーンの復元、新しく建った小屋の目隠し植栽、たい肥小屋屋根の補修、カモミールベンチの補修

<西ガーデン> たい肥場跡の整備、樹木の植込み

[菰田]

【通年行う主な作業】

<前半… 3月下旬～8月頃>

バラの選定、施肥
ラベンダーの刈込み
鉢上げ植物の植込み
ダリア、パイナップルリリー植込み
クマガイソウの施肥
アサガオの種まき
ラベンダーの花の刈取り
リンデンの花摘み
ヒンメリ用ムギの刈取り
コスモス種まき
ブラックベリー収穫

<後半… 9月頃～12月初旬>

春用植物の種まき
チューリップなどの球根植え付け
屋内冬越し植物の鉢上げ
ダリア、パイナップルリリーの球根の堀上げ
クリスマスローズ施肥



◎バザーのお知らせ

日時:5月29日(水)10時～12時

*ボランティア集合時間 9時

*ランチを用意します

◎花束作りのお知らせ

日時:5月28日(火)13時～

*花束用の切り花やオアシス用のコーヒークップなどがあれば、お持ちください

コラム No.6 木にまつわるあれこれ

私は2001年7月に諏訪中央病院へ鎌田先生の患者として来ました。それから、皆様と知り合って、13年が経ちました。親しい人からは坂本ではなく、「ウッディーさん」と呼ばれています。私は埼玉県の熊谷で103年続く材木商を営んでおります。3代目を継ぐときにあだ名を会社名にしました。

今、木の国の日本人が木の使い方を忘れていています。まな板等にヒノキやツガ、外国産材のスプルス等のでたらめな物を使っています。まな板は抗菌力のあるイチヨウか柳なのです。木の匂いが食物につくようなヒノキ、杉はだめです。また、包丁の刃こぼれする堅い木やプラスチックは切粉が食べ物の中に入ったら大変です。



タンスに使う桐は空気層が多く、火事になっても表面が焦げるだけで、中は変化がなく、中の物が燃えません。また、桐から出る成分で着物に虫がつきにくくなっています。日本酒も古くは杉樽で作っていましたが、今はホーローで作っているので、後で杉樽に浸けて香りづけをしています。昔から杉の香を楽しんで飲んでいたのですが、今ではヒノキの升で飲んでいる人が大半です。杉の香をヒノキが殺してしまっています。造り酒屋さんは新酒が出来ると、杉の葉で作った大きな杉玉を店先に吊るします。杉の木は酒造りには欠かせない木なのです。

木にまつわる話はほかにもいろいろありますが、またの機会に。[坂本]